

学校目標「心豊かで 自他ともに大切にし 共に学び合う たくましい子どもの育成」

～ たくましく かしこく たくましく ～

梨の花

唐津市立大良小学校 学校だより

R5. 10月18日号

文責 校長 渡辺 謙



学校 HP

バス旅行・修学旅行

6年生は、10月11日～12日に長崎へ修学旅行に行きました。

天候にも恵まれ、楽しく学ぶことの多い2日間を過ごしてきたようです。切木小・竹木場小の6年生との仲も深まり、来年度の中学進学後もスムーズな交流ができるのではないかと思います。

1～5年生は、佐世保市の「海きらら」「森きらら」へ出かけました。イルカショーの水しぶきやワオキツネザルのかわいらしさに歓声を上げた一日でした。美味しいお弁当の準備をありがとうございました。



赤い羽根募金ポスター標語コンクール

今年度の赤い羽根募金ポスター・標語コンクールの授賞式は、10月1日（日）に県庁で行われました。その日がちょうど運動会と重なっていたため、12日に担当者の方が大良小を訪問され、賞状と賞品を授与してくださいました。毎年、このコンクールには、大良小より作品を応募しており、今年度も学校賞をいただきました。各クラスで、今年度の募金も始まっているようです。御協力をお願いいたします。



R5年度学校評価計画 詳しくは大良小学校HPで

3 本年度の重点目標			
○伝え合いながら学ぶ子ども(よく見て、よく聴き、考えを持ち、伝え合う子ども) ○自分も周りの人も大切にすることも(よさを認め、思いやりと感謝の心をもつ子ども) ○元気で誇りたつ子ども(基本的生活習慣が良い、元気に走り遊びのある子ども)			
4 重点取組内容・成果指標			
(1)共通評価項目			
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組
●学力の向上	○全職員による共通授業と共通実践 ○基礎基本の定着と主体的に学ぶ態度の育成	○「連携の学習スタイル」チェックシートにおけるA評価が5項目以上となるようにする。 ○授業が分かりやすいと感じる児童を80%以上にする。	○教職員間で唐津の学びスタイルチェックシートを共有する。 ○全職員で校内研修を推進し、全学年が1回の研究授業と研究協議を実施する。 ○考えを交流する時間「ゆり返りタイム」を、毎日の授業の中に取り入れる。 ○個別指導・協同的学習が生かされる場面に於いてタブレット端末やICT機器を取り入れる。
●心の教育	○自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進 ○いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○道徳の授業の中に、議論する活動を組み、議論の場やアンケートにおいて肯定的な返答をした児童の割合を80%以上にする。 ○いじめの予防、早期発見、早期対応、事後対応に努め、1学期が楽しいと感じる児童が85%以上にする。	○道徳の授業を年1回以上保護者に公開し、保護者の意見及び感想を職員で共有し、取組を推進等とする。 ○「人権基金」を年2回以上開き、職員が輪番で「人権」「共生」「協力」等の話を発表する。 ○各学年の発達段階に合わせた「いじめ」防止に関する授業を、1回以上行う。 ○学期1回、教育相談期間に合わせて独自の心のアンケートをとり、担任や職員全体で関わって教育相談を行う。
●健康・体づくり	○「学校独自重点取組(任務)」	○児童生徒の交通事故ゼロ(0)にする。	○「大好き良いカード」の自己評価などを参考に、月ごとに成長や高得点維持について賞賛していく。 ○保護者と連携し、ノーテレビ・ノーゲームデーを毎月1回設定し、結果を発表と共有する。 ○不登校等において、毎日全児童に交通安全に関する注意喚起を行う。 ○危険な事案や情報は、早急に公民館や青少年委員と情報共有をする。
●教育効果の推進と時間外活動時間の削減	○教育委員会提出に提出する校外活動等時間外活動の削減	○教育委員会提出に提出する校外活動等時間外活動の削減	○予定運動時間を明確にし、仕事の量を付け作業に取り組み、 ○会議日の定時退勤日を確保するために、朝と運動10分前呼びかけを行う。 ○提出書類がある業務に関しては、早急に担当者に伝え、余裕を持って取り終るようにする。
●児童改善・教職員の働き方改革の推進	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援学級及び個別の対応が必要な児童の理解と対応について、成果指標を達成した教師80%以上にする。	○月一回の児童理解協議会において、特別支援学級在籍児童及び個別の対応が必要な児童の理解と具体的な支援について共通理解を深める。 ○特別支援教育の研修を、主に発達障害の理解と対応について、年一回以上実施する。 ○コグニに取り組み、児童の認知能力の理解と把握に努める。
○特別支援教育			

本年度の学校の取組について(学校評価計画より)

令和5年度も折り返し地点を過ぎました。学校では、年度当初にこれまでの学校課題などをふまえつつ、重点的に力を入れて取り組んでいく学校評価計画を立てています(詳しくは学校HPを御覧ください)。

それに基づきながら、学校の様々な取組を進めています。ちょうど中間地点ということで、児童へのアンケートを実施しました。

そこから見えてきた課題がいくつかあります。

① 「**伝え合い活動**」の充実を図ること。大良小で長く続いている「伝え合い活動」ですが、苦手意識を感じている児童もいます。友だちと考えを伝え合いながら、これまでの自分経験や知識と対話しながら、楽しく学んでいける授業づくりをこれからも目指したいと思います。

② **テレビやゲーム、スマホ(タブレット)との上手な付き合い方について考えること**。これまでもお伝えさせていただいてきたことですが、これらの使用時間が長くなっている傾向にあるようです。時間を決めて上手に付き合っていくように御家庭とも協力しながら啓発を図りたいと思います。

③ **相手のことを考えた言葉遣いや行動をすること**。「相手が『嫌だ』と感じるような言動を控えて、ほかほか言葉を使っていこう」という話を人権集会やクラスにおける道徳の時間に行っています。残念ながら、児童の言葉遣いや行動が「相手のことを考えた」ものとなっていない事例もいくつか見受けられます。現代社会は、相手を尊重することを大切にする社会です。多様性を認め、相手の立場に立った言葉を使うことや思いやりのある行動ができるように、小さなところから社会全体で支えていくことの必要性を感じます。